



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東大

上場会社名 宝ホールディングス株式会社

コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大宮 久

問合せ先責任者 (役職名) IR室長

(氏名) 掛見 卓也

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	95,478	4.4	3,326	2.4	3,451	6.7	959	△30.4
23年3月期第2四半期	91,472	0.4	3,248	10.6	3,234	3.5	1,378	△19.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 648百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,947百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.62	—
23年3月期第2四半期	6.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	188,953	105,801	49.2
23年3月期	192,448	106,895	49.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 92,982百万円 23年3月期 94,308百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	8.50	8.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.50	8.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	197,400	4.0	8,600	3.2	8,900	5.6	4,000	5.6	19.26

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	217,699,743 株	23年3月期	217,699,743 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	10,083,822 株	23年3月期	10,069,310 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	207,623,176 株	23年3月期2Q	208,398,351 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。また、当社は11月8日(火)に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会終了後遅滞なく当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧とともに企業の生産活動や個人消費は持ち直しの動きを見せる一方で、世界経済の見通しの不確実性の高まりやそれを受けた為替円高の進行により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、長期経営ビジョン「TaKaRaグループ・ビジョン2020」の実現へ向け、「国内での安定成長を実現するとともに、海外で大きく成長するための事業基盤を拡大する」ことを基本方針とする3か年の中期経営計画「TaKaRaグループ中期経営計画2013」を本年4月にスタートさせました。国内酒類事業、調味料・酒類事業においては、震災により資材調達、生産、物流など各方面で影響がありましたが、消費者の皆さまへ安全・安心な製品を安定的にお届けするための体制を確保するとともに、多様化する消費者嗜好に対応した新製品の開発、ブランド育成などに注力いたしました。また、主に海外の一部地域で原子力発電所の事故にともなう日本の食品の安全性についての風評被害が懸念されましたが、当社グループの海外酒類事業、日本食材卸事業については順調に事業拡大を進めております。研究用試薬を中心とする遺伝子工学研究事業は特に海外市場において成長しており、遺伝子医療事業、健康食品事業についても事業基盤の確立を着実に進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比104.4%の95,478百万円、営業利益は同102.4%の3,326百万円、経常利益は同106.7%の3,451百万円と増収増益となりました。一方、特別損失において、被災した製品の廃棄・評価損などで「災害による損失」805百万円を計上したほか、株価下落の影響を受けて投資有価証券評価損357百万円を計上したことなどにより、四半期純利益は前年同期比69.6%の959百万円となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

[宝酒造グループ]

当セグメントの中核である宝酒造株式会社では、震災による製造設備への被害は比較的軽微でありましたので、生産・供給体制は早期に復旧いたしました。比較的被害が大きかった物流拠点については、代替の物流体制を早期に整え製品の安定供給に努めるとともに、6月中旬以降には完全に復旧いたしました。この結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比105.3%の84,996百万円となりました。品種別には<焼酎ハイボール>が引き続き好調に推移するとともに、本年3月にリニューアルした<直搾り>などの「ソフトアルコール飲料」が大幅に増加いたしました。また、低アルコールのスパークリング清酒<松竹梅白壁蔵 霽(みお)>を新発売した「清酒」や、料理清酒等の「その他調味料」、ウイスキー等の「その他酒類」、「原料用アルコール等」もそれぞれ好調に推移し、「その他」部門の海外の日本食材卸事業では、FOODEX S. A. S. (仏国)の売上高も当セグメントの増収に寄与しました。一方利益面では、原材料価格の高騰により原価率が上昇しましたが、売上の増加にともない売上総利益は前年同期比104.2%の31,244百万円となりました。また販売費及び一般管理費は、被災した物流拠点の代替措置によるコストアップや、ブランド強化策として戦略的に広告宣伝費を投下したことなどにより前年同期比105.4%の28,674百万円と増加いたしました。以上の結果、当セグメントの営業利益は前年同期比92.3%の2,569百万円となりました。

[タカラバイオグループ]

当セグメントの遺伝子工学研究事業においては、研究用試薬が円高の影響を受けたものの前年同期比で増加し、質量分析装置などの理化学機器も好調に推移いたしました。また遺伝子医療事業では、がん免疫細胞療法を実施する医療機関への技術支援サービスの売上高が増加しました。医食品バイオ事業では、健康食品の売上高が増加いたしました。キノコ関連製品の売上高が前年同期比で減少いたしました。その結果、当セグメントの売上高は前年同期比102.4%の8,642百万円と増収となりました。売上原価は、原価率が低下したことから前年同期比97.8%の3,873百万円となり、売上総利益は前年同期比106.4%の4,768百万円となりました。販売費及び一般管理費は、運送費や研究開発費の増加により前年同期比102.0%の4,374百万円となり、営業利益は前年同期比202.7%の394百万円となりました。

[宝ヘルスケア]

健康食品の主力であるフコイダン関連製品の売上高は増加いたしました。その他の飲料の売上高が減少したため当セグメントの売上高は前年同期比87.5%の1,326百万円と減収となりました。利益面では、利益率の高いフコイダン関連製品の増加により原価率は低下しましたが、売上高減少の影響が大きく、売上総利益は前年同期比98.7%の447百万円となりました。同セグメントは、引き続き事業育成のための広告宣伝費を先行的に投下しているため当第2四半期連結累計期間に営業損失86百万円を計上しておりますが、損失は前年同期より29百万円減少いたしました。

[その他]

報告セグメント以外の「その他」のセグメントの売上高は、前年同期比93.6%の3,590百万円となり、営業利益は、前年同期比44.6%の27百万円となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前年同期比
品種	金額 (百万円)	(%)
宝酒造グループ		
焼酎	36,729	98.1
清酒	7,364	100.1
ソフトアルコール飲料	15,212	129.7
その他酒類	4,914	103.3
酒類計	64,220	104.8
本みりん	6,884	97.2
その他調味料	3,504	105.1
調味料計	10,389	99.7
原料用アルコール等	3,097	109.0
物流	4,368	98.6
その他	2,921	164.6
計	84,996	105.3
タカラバイオグループ	8,642	102.4
宝ヘルスケア	1,326	87.5
その他	3,590	93.6
事業セグメントに配分していない 売上およびセグメント間取引消去	△3,076	—
合計	95,478	104.4

(注) 金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は188,953百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,495百万円減少いたしました。流動資産は、配当や納税による現金及び預金の減少5,730百万円、受取手形及び売掛金の増加1,940百万円、余資の運用としての有価証券の増加1,539百万円などにより前連結会計年度末に比べ1,927百万円の減少となりました。固定資産は上場株式の時価下落などによる投資有価証券の減少1,648百万円などにより前連結会計年度末に比べ1,567百万円の減少となりました。

負債合計は83,151百万円となり、未払法人税等の減少658百万円や繰延税金負債の減少609百万円などにより、前連結会計年度末に比べ2,402百万円減少いたしました。また1年内に償還予定の社債5,000百万円を固定負債から流動負債へ振り替えております。

純資産合計は、四半期純利益959百万円及び配当支払1,767百万円により利益剰余金が807百万円減少したほか、その他有価証券評価差額金の減少898百万円などにより前連結会計年度末に比べ1,093百万円減少し、105,801百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,271百万円、減価償却費2,150百万円、売上債権の増加1,864百万円、法人税等の支払額1,343百万円などにより、前年同期に比べ1,567百万円減少し804百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出（払戻とネット）1,492百万円や有形及び無形固定資産の取得による支出3,072百万円などにより、4,496百万円の支出となり、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出3,384百万円のあった前年同期に比べ2,165百万円の支出減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額1,764百万円などにより2,022百万円の支出となりました。社債の発行による収入（償還とネット）4,923百万円のあった前年同期の1,953百万円の収入から、3,975百万円の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べ5,703百万円減少し、22,680百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は期初の予想に比べ好調に推移し、9月20日、10月25日に業績予想の上方修正を行っております。しかしながら、通期業績に関しましては、宝酒造グループで原材料価格の上昇による原価アップが見込まれるため、ほぼ期初予想並みの、売上高197,400百万円（期初予想比+100百万円）、営業利益8,600百万円（同+200百万円）、経常利益8,900百万円（同+200百万円）、当期純利益4,000百万円（増減なし）を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,782	27,051
受取手形及び売掛金	45,102	47,042
有価証券	12,665	14,204
商品及び製品	20,552	21,161
仕掛品	964	958
原材料及び貯蔵品	2,782	2,550
その他	4,940	4,899
貸倒引当金	△81	△89
流動資産合計	119,707	117,779
固定資産		
有形固定資産	41,645	42,048
無形固定資産		
のれん	4,017	4,069
その他	2,010	1,860
無形固定資産合計	6,028	5,930
投資その他の資産		
投資有価証券	18,527	16,878
その他	6,786	6,565
貸倒引当金	△246	△248
投資その他の資産合計	25,067	23,194
固定資産合計	72,741	71,173
資産合計	192,448	188,953
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,489	13,788
短期借入金	5,182	4,918
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払酒税	8,065	7,663
未払費用	3,592	3,213
未払法人税等	1,785	1,127
賞与引当金	2,012	2,198
その他の引当金	1,781	1,857
その他	5,541	4,934
流動負債合計	41,453	44,702
固定負債		
社債	25,000	20,000
長期借入金	561	534
退職給付引当金	9,644	9,575
長期預り金	6,119	5,907
その他	2,774	2,431
固定負債合計	44,100	38,449
負債合計	85,553	83,151

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	3,197	3,197
利益剰余金	85,784	84,977
自己株式	△5,852	△5,857
株主資本合計	96,356	95,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,754	1,856
繰延ヘッジ損益	△32	△109
為替換算調整勘定	△4,770	△4,306
その他の包括利益累計額合計	△2,048	△2,560
少数株主持分	12,587	12,819
純資産合計	106,895	105,801
負債純資産合計	192,448	188,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	91,472	95,478
売上原価	56,068	58,583
売上総利益	35,404	36,895
販売費及び一般管理費	32,155	33,569
営業利益	3,248	3,326
営業外収益		
受取配当金	205	206
その他	238	266
営業外収益合計	443	473
営業外費用		
支払利息	297	254
その他	160	93
営業外費用合計	457	347
経常利益	3,234	3,451
特別利益		
固定資産売却益	13	196
投資有価証券売却益	413	2
その他	31	14
特別利益合計	458	214
特別損失		
災害による損失	—	805
投資有価証券評価損	1	357
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	424	—
その他	223	230
特別損失合計	650	1,394
税金等調整前四半期純利益	3,042	2,271
法人税、住民税及び事業税	1,757	1,178
法人税等調整額	△83	15
法人税等合計	1,674	1,194
少数株主損益調整前四半期純利益	1,368	1,076
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△10	117
四半期純利益	1,378	959

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,368	1,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,895	△888
繰延ヘッジ損益	△56	△77
為替換算調整勘定	△1,350	548
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△12
その他の包括利益合計	△3,315	△428
四半期包括利益	△1,947	648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,717	447
少数株主に係る四半期包括利益	△229	200

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,042	2,271
減価償却費	2,200	2,150
受取利息及び受取配当金	△269	△291
支払利息	297	254
売上債権の増減額 (△は増加)	△318	△1,864
たな卸資産の増減額 (△は増加)	175	△255
仕入債務の増減額 (△は減少)	△384	266
未払酒税の増減額 (△は減少)	△190	△401
その他	△368	△15
小計	4,183	2,114
利息及び配当金の受取額	268	285
利息の支払額	△292	△251
法人税等の支払額	△1,787	△1,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,372	804
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,418	△5,192
定期預金の払戻による収入	2,107	3,699
有価証券の取得による支出	△2,144	△519
有価証券の売却及び償還による収入	2,135	543
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,473	△3,072
有形固定資産の売却による収入	31	478
投資有価証券の売却による収入	864	3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,384	—
その他	△379	△436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,662	△4,496
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	9,923	—
社債の償還による支出	△5,000	—
自己株式の取得による支出	△1,191	△6
配当金の支払額	△1,785	△1,764
その他	7	△251
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,953	△2,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	△121	10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,457	△5,703
現金及び現金同等物の期首残高	33,624	28,384
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,166	22,680

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	80,224	8,176	1,512	89,913	1,385	91,299	173	91,472
セグメント間の内部 売上高又は振替高	529	267	3	800	2,449	3,249	△3,249	—
計	80,754	8,443	1,516	90,713	3,834	94,548	△3,075	91,472
セグメント利益又は損 失(△)	1,166	△134	△116	915	28	943	435	1,378

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機能会社グループを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額435百万円には、セグメント間取引消去32百万円、事業セグメントに配分していない損益403百万円(主として持株会社である当社の損益)が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の四半期純利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	84,541	8,332	1,323	94,198	1,110	95,309	169	95,478
セグメント間の内部 売上高又は振替高	454	309	2	767	2,479	3,246	△3,246	—
計	84,996	8,642	1,326	94,965	3,590	98,555	△3,076	95,478
セグメント利益又は損 失(△)	2,569	394	△86	2,877	27	2,905	420	3,326

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機能会社グループを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額420百万円には、セグメント間取引消去43百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益376百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

通期の業績管理を営業利益ベースで行っていること、また、2011年4月に公表した「TaKaRaグループ中期経営計画2013」において、目標とする利益指標を「連結営業利益」としたことから、セグメント利益を営業利益ベースとする方が投資家等により有用な情報を提供できると判断し、前連結会計年度末より営業利益をセグメント利益としております。この変更により、前第2四半期連結累計期間のセグメント利益を営業利益ベースで作成し直した数値は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
セグメント利益又は損 失 (△)	2,784	194	△115	2,863	62	2,925	323	3,248

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機能会社グループを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額323百万円には、セグメント間取引消去71百万円、のれんの償却額△38百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益290百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。